

道路建設工事におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた本人運転の車が追突した。	45~49	30
1	15~16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた車に同乗している車が追突した。	40~49	30
2	12~13	ASガラ置場においてダンプトラック（4t）での荷下ろし中、荷台に引っ掛かったガラを荷台上で除去したところ、ASガラと共に被災者がダンプトラック荷台から滑落し、落ちたガラに左半身が挟まったため負傷した。	65~29	10
2	11~12	倉庫内において、2tダンプ荷台上で資材の積み込みを行っていた。完了後、荷台（約1.5m）から降りる際、あおりに躓き、腰部から落下した。	69~29	10
2	10~11	2tダンプにてコンクリートガラを処分場に排出中に後方アオリが外れ、直そうとしていたらアオリと荷台に左手親指を挟まれ左手親指の指先を欠損した。	59~9	1
2	8~9	北側エプロン舗装等工事の現場で、被災者（運転手）が10t散水車にてコンクリート舗装に使用する真水を現場に運搬してきて運転席から下りる際に運転席のドアが、突風（現地風速9.5m/s）であおられ急激に開いたため、反動で、運転席から落ちた。	53~29	10
		業務にてトラックを運転走行中、前に乗用車が割り込んできた為、右へ車線変更し		1

2	18~19	たところ、その乗用車も同様に右へ車線変更してきた為、自車は急ブレーキを掛けスリップして横転して、受傷した。	53	~ 9
4	11~ 12	大型ダンプの荷台を洗浄するため、車側面のはしごに登っている時、足を滑らせ高さ約2mより落下し負傷した。	60	~ 49
4	8~9	交差点先で、本社資材倉庫よりユニック車で資材搬送中、一時的に低血圧により意識を失ったと思われ、反対車線にはみ出し、停車中のトラックに衝突した。	68	~ 49
5	16~ 17	裏資材置場において、被災者はごみ集積場所から手押し台車で加害ダンプの助手席側横を通り抜け、倉庫に戻る途中だった。加害ダンプの運転手は材料を探しに材料置場へ行き、そのあと運転席へ戻り、車を後進させた時、ダンプトラック後方にて手押し台車を押して歩いていた被災者に気付かずダンプに巻き込み被災させた。被災者は敷地内の整理、清掃が主作業であり、また、現場には二人以外は誰もいなかった。	80	~ 99
5	16~ 17	路肩で、規制標識の解除終了後、規制車に乗り込み、シートベルトを着用する前に大型車両（キャリアカー）が右後方に追突した。その際に約5m下の車道に規制車ごと転落し、車は大破し、乗車していた3名が負傷した。	40	~ 29
5	8~9	会社駐車場で現場に向かう前の朝のトラック点検をしている際、中の点検を終えて外に出ようとした時にステップから右足を踏み外し、左側から地面に落下し、腕を負傷した。	48	~ 29
6	13~ 14	大型土のうの撤去作業中、バックホウで4tダンプに大型土のうを積み込み、バックホウの吊りフックを外した時に、斜路にエンジンを掛けたままの4tダンプが動き出し、バックホウのバケットが大型土のうに当たり、大型土のうがずれて、4tダンプのキャビン側のアオリと大型土のうに挟まれ被災した。	59	~ 9
6	8~9	会社所有の軽トラックで、道路除草作業の箇所範囲を確認して集合場所に帰る途中、一時停止して右折しようとしていたところ、後ろから2tトラックに追突され、首と腰を強打した。	30	~ 9

6	16～ 17	ダンプトラックを運転中に左膝に違和感があった。ダンプトラックを降りた際、左膝に痛みがあり歩行が困難な状態になっていた。	63	1～ 9
7	17～18	現場から事務所に戻り、トラックから資材、工具を片付ける作業中、荷台から降りた時に右足首をひねって負傷したもの。	23	1～ 9
7	6～7	弊社の倉庫から入船の現場へ3トンダンプで移動中、ガードレールに左前方を激突し、約10メートル車体を擦って停車した。運転手は怪我をしていないが、助手席同乗者は左足を負傷し、左足を固定するための手術を受けた。原因は、運転手が右手でホルダーからペットボトルを取ろうとし、一瞬、脇見をしたことによるものである。	51	50～ 99
7	12～13	道路の草刈り作業現場で、昼食を取るため、軽トラックの荷台に4人を乗せ、50メートルほどバックで移動した。停車しようとして減速した際に、荷台に乗っていた1名がバランスを崩して落下した。軽トラックの後輪で被災者に乗り上げ、巻き込む事故が発生した。	37	1～ 9
7	9～ 10	U字溝をユニックに積込み時、積込み後に荷台から降りようとしたとき、巻き込み防止に足を掛けて降りようとしてバランスを崩し、咄嗟にU字溝を掴んだが、発生材のU字溝だったので、モルタルが付いており、それが剥がれて転落した。転落したときに右足を着いたが、勢い余ってそのまま転倒した。	63	10～ 29
7	13～ 14	幹線水路（第1区間）維持管理等業務において、外部進入路内10m付近で、交通規制用看板の荷降ろし作業中、トラック荷台アオリを開いたときに荷が崩れ、工事看板が滑り落ちて、右膝5cm上に衝突した。	60	1～ 9
7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	45	10～ 29
7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	40	10～ 29

7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	28 ～ 29	10 ～ 29
7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業中の被災者に衝突し即死した。	47 ～ 29	10 ～ 29
7	10～ 11	ダンプトラックで砂を荷下ろしした後、後方部のあおりの角で手を挟み、左手薬指（第1～第3関節）を負傷し、数針縫う怪我を負った。	22 ～ 49	30 ～ 49
7	19～ 20	夜間工事の準備中、10t車に載せていたバックホウを点検・確認し、降りようとしたときに足を滑らせ、約2.0m下に転落し、左手首・左臀部・額を打撲した。	53 ～ 29	10 ～ 29
7	7～8	4tダンプに資材を積込んでいるときに資材が落下し、4tダンプから飛び降りたときに足を捻挫したと思った。痛みがあり病院に行ったところ、骨折と判明した。	67 ～ 29	10 ～ 29
9	14～ 15	当該運転手がトンネルに差し掛かった際、先方に倒木処理をしていた車輛が2台停車していた。その際、処理中の車輛から声を掛けられて、援助するために当該車輛から降りた。そして、ダンプ運転席ステップに立ち、当該倒木にロープを掛けようとしたところ、足を滑らせ落下、両足で着地したもの。その際の衝撃で両足（踵）を負傷した。	71 ～ 29	10 ～ 29
9	6～7	駐車場でトラック荷台に載せていた積荷の積み替え作業中に、トラックの荷台から降りようとし、車体に足が引っ掛かり転落、右足首を骨折したものである。	49 ～ 29	10 ～ 29
10	14～ 15	資材置き場において、資材をクレーンで平ボディーに積み込み作業中、吊荷を下している時、荷台フックに躓いて荷台より転落した際（高さ1m）右手首を負傷したものの。	33 ～ 9	1 ～ 9
		自社残土置場より、処分場へ残土運搬業務終了後、自社洗車場に戻り、ダンプの荷		

11	17～ 18	台の上に乗る洗車作業を行っていた。荷台後部あおりに挟んであったストッパーを外そうとしたところ、左手が残った状態でストッパーを外してしまい、あおり部分が閉まり左手母指を挟んでしまった。事故後、すぐ病院にて受診し、開放骨折と診断された。	55	1 ～ 9
11	17～ 18	交差点で右折をしようとしていたところ、対向車が信号無視をして突っ込まれて負傷した。	56	30 ～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)